



城東学園小中一貫校整備について

令和6年7月

教育委員会 教育政策課



目次



掛川市では、令和5年8月に「学校再編計画」を策定しました。
これから城東学園にて、小中一貫校の整備を進めていきます。

1. なぜ学校再編？
2. なぜ小中一貫校？
3. 新しい学校づくりに向けた進め方



1. なぜ学校再編？



1. なぜ学校再編？



学校再編を進める理由(課題)は主に3つあります。

求められる学力 の変化



- 情報化社会が進み、知識・情報・技術の変化スピードが加速。
- これまで重視されてきた「知識・技能」以外の力を身につけることが求められている。



少子化の進行



- 全国的に少子化が進行。
- 掛川市も小学生の人数はこの30年間で約30%減少。
- コロナ禍の4年間で、出生数が大きく減少。



施設の老朽化



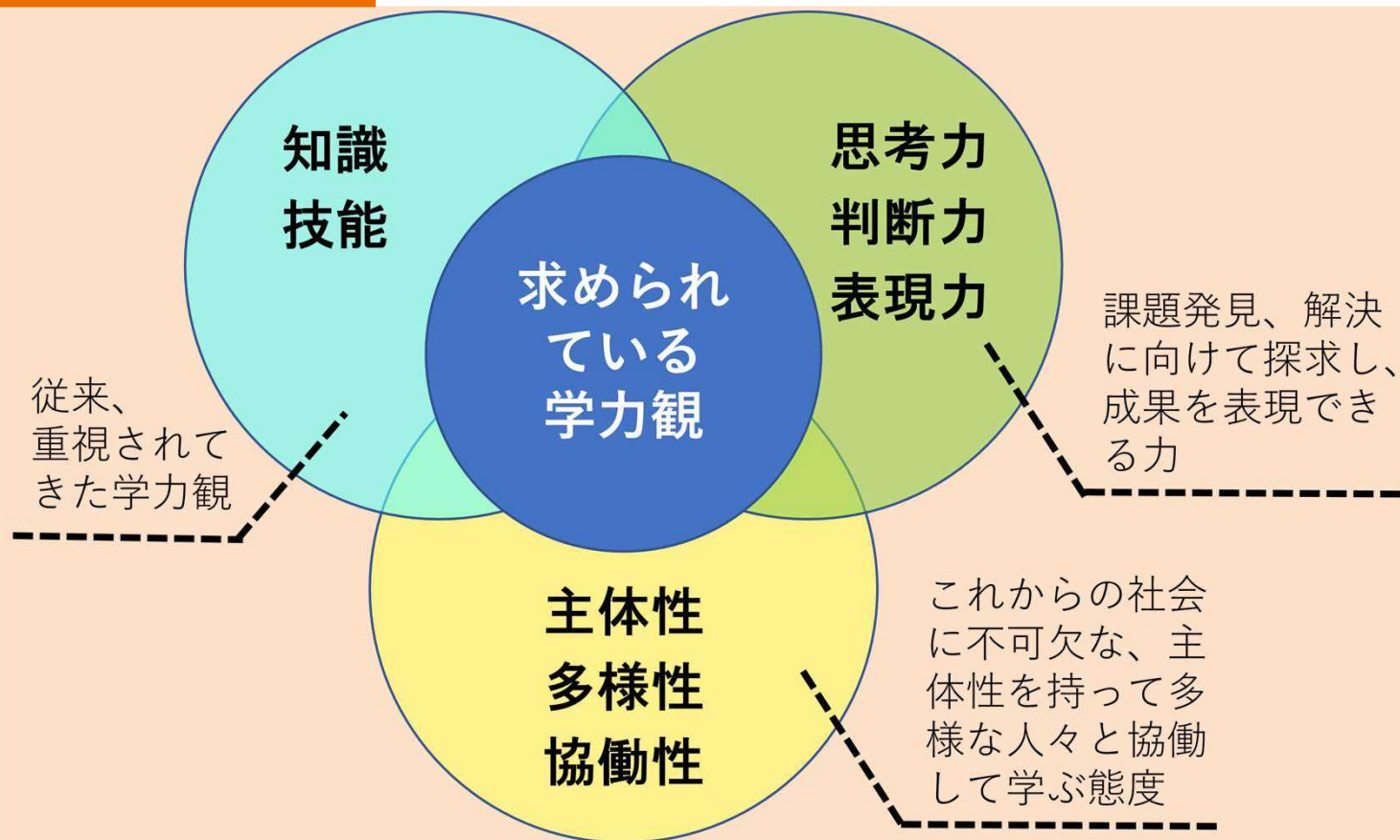
- 掛川市の小中学校は、主に昭和38年～56年頃に整備。一番古い校舎で築63年が経過。
- 耐震工事は実施済みも、雨漏り等の不具合は日々発生。



1. なぜ学校再編？



求められる学力の変化

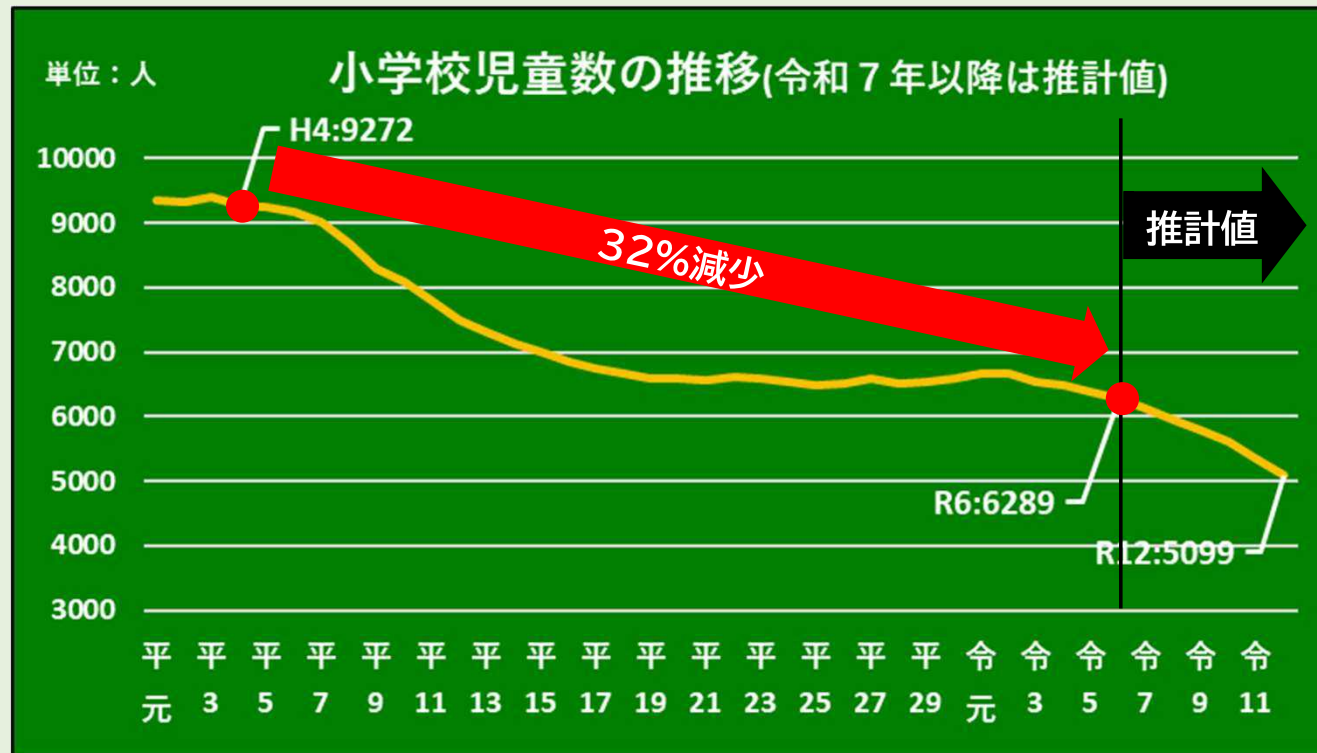




1. なぜ学校再編？

少子化の進行

【掛川市】



【城東学園(3小合計)】

<小学校児童数>

H4:713人

R6:403人

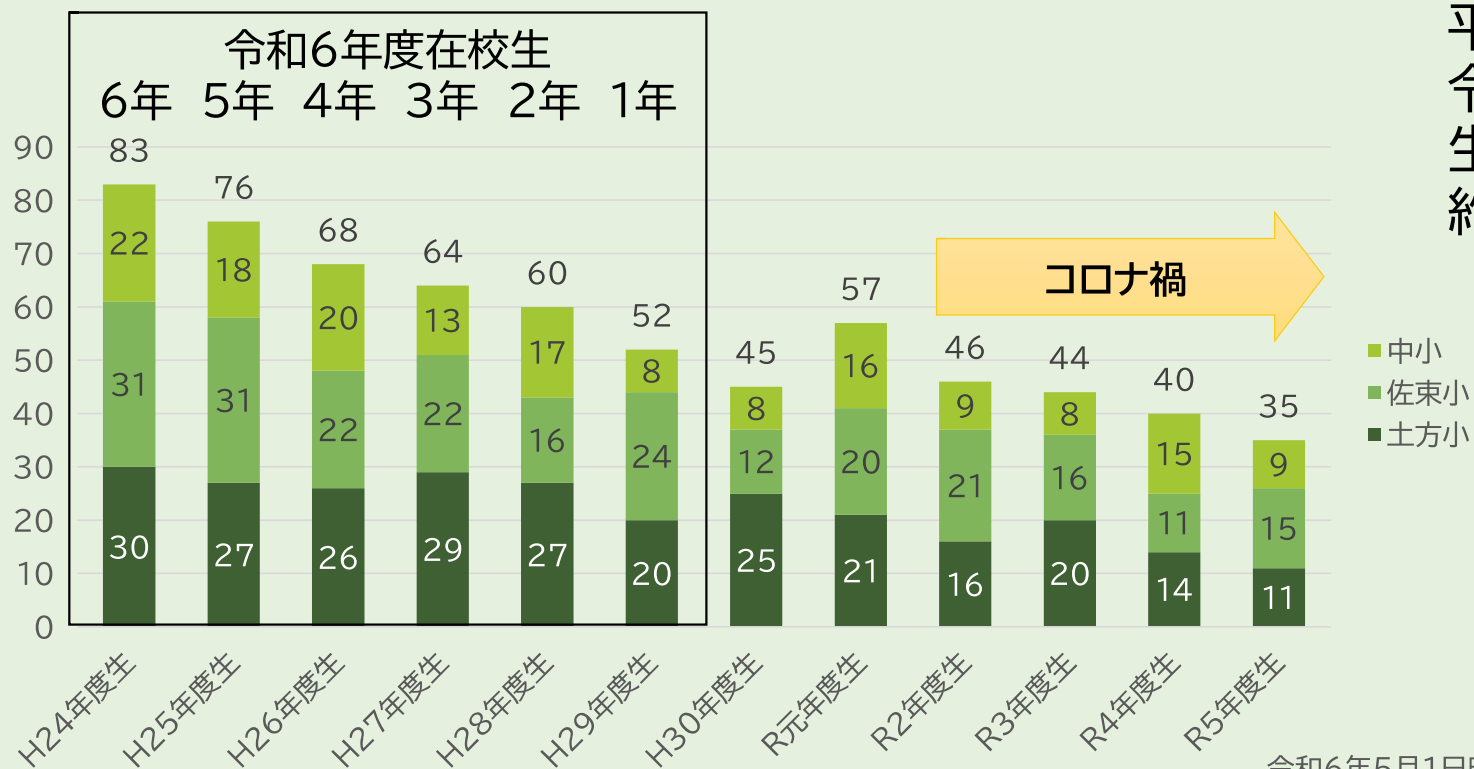
⇒32年間で43%減少

1. なぜ学校再編？



少子化の進行

城東学園 小学校児童数推移



平成24年度から
令和5年度の12年間で、
生まれた子どもの数は
約半数まで減少。

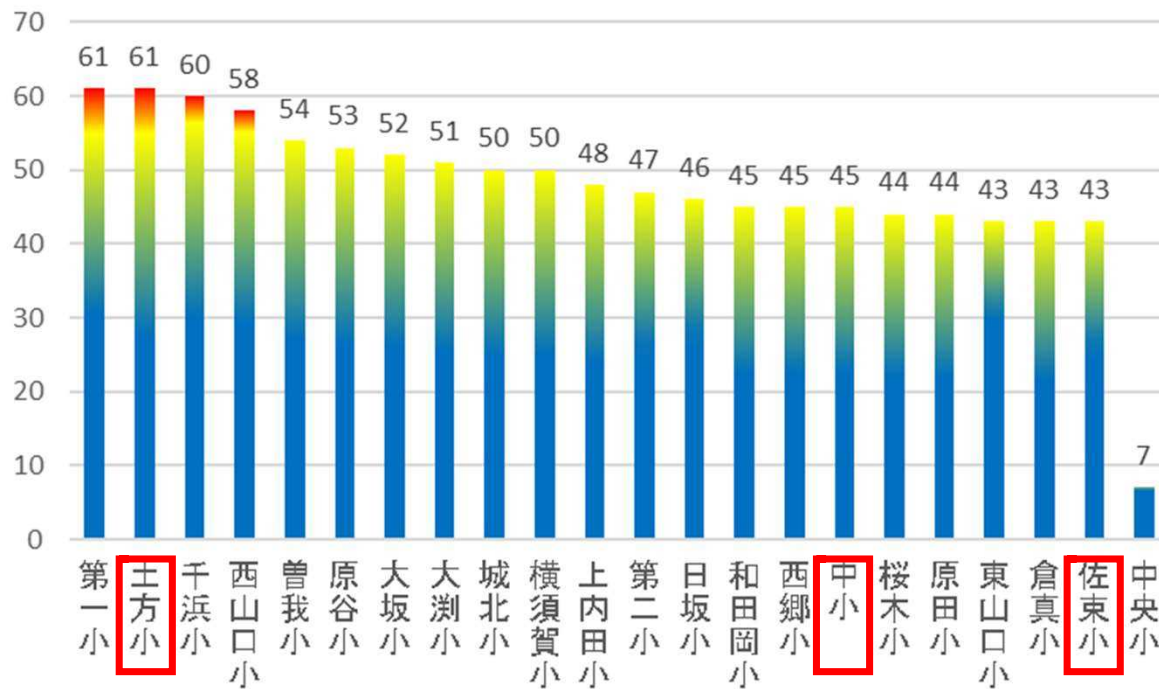
令和6年5月1日時点



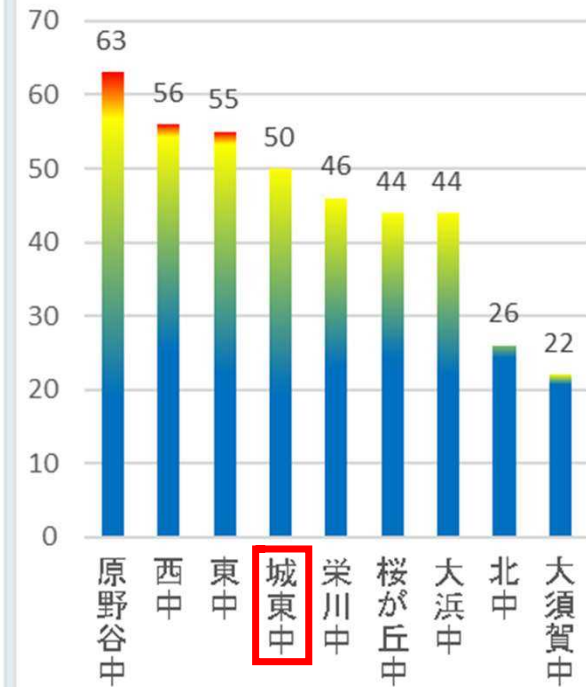
1. なぜ学校再編？

施設の老朽化

小学校校舎の築年数



中学校校舎の築年数





1. なぜ学校再編？

これらの課題を解消するために、学校再編を行います。

課題

対策

どうやって？

求められる学力の
変化

少子化の進行

施設の老朽化

- 多様な学びの実践
- 上記を可能にする集団規模の確保

- 人口減少を見据えた学校施設の更新

小中一貫教育の導入

一貫教育に適した
学校施設の整備

2. なぜ小中一貫校？



2. なぜ小中一貫校？



現在の課題を解消する手立てとして以下を想定しています。

小中一貫教育の導入

一貫教育に適した
学校施設の整備

【小中一貫教育とは？】

- ・ 小学校と中学校が目指すべき子ども像を共有。
- ・ 9年間の連続性(系統性)をもった教育課程の編成と実施。



- ・ 小中の縦の連携を生かして、多様な教育活動が実践できる。
- ・ 多様な価値観に触れるための集団規模を確保できる。



2. なぜ小中一貫校？

現在の課題を解消する手立てとして以下を想定しています。

小中一貫教育の導入

一貫教育に適した
学校施設の整備

【ポイント】

- 小学校と中学校が連携しやすい距離にあることが重要。

<施設一体型> もしくは <施設隣接型> が望ましい。

小中学生が
1つの同じ校舎に通う

小中学生で校舎は別々
だが、隣合っている

3. 新しい学校づくりに向けた進め方



3. 新しい学校づくりに向けた進め方



3. 新しい学校づくりに向けた進め方



どういう学校に
しょう？
どこに建てよう？



ステップ1
基本構想・基本計画

令和6年度



／城東学園小中一貫校整備検討委員会／
を立ち上げました！

地域を代表する22名の委員さんと一緒に、
下記を検討していきます。

- ①建設コンセプト、整備方針(どんな学校にしたいか)
- ②建設場所(どこに建てるか)
- ③複合する施設・機能(学校にあってほしいもの) 等

検討の様子は、おたよりとして地域に回覧します。

3. 新しい学校づくりに向けた進め方



検討委員会は、
地域の皆様の意見を伺いながら進めていきます。
地域説明会、児童生徒ワークショップなども開催予定です。
是非ご参加いただき、お声を聞かせてください！



通知文に掲載したQRコードから、
アンケートのご記入をお願いします！



ご視聴ありがとうございました

